

地域福祉計画策定に向けた住民懇談会 企画案(7月素案)

(1)開催目的

- ① 地域の良いところや身近な困りごとを参加者の幅広い視点から洗い出し、地域に内在する、生活課題の共有と気づきを得る機会とする。(→意見は計画の参考とする)
- ② 近隣地域の生活課題や他地域からの意見を知ることを通じて、自分の地域の長所・短所を考える機会とする。(→自分の地域や活動を見つめ直す機会とする)

(2)対象者・募集方法

- ① 対象者は、主に市内の保健・医療・福祉分野で活動する市民・団体代表者
地域づくりや福祉分野に興味・関心を持つ市民・学生・団体代表者
- ② 募集方法は、市及び社協からの呼びかけ
市報、回覧板による広報
参加者募集チラシの作成・配布(窓口、公民館等、福祉事業所、幼保・学校、大学、商店街等)
アンケート調査票へのチラシ同封
SNS 等による周知



(3)開催時期

- ① 実施時期は、10月下旬～12月上旬
- ② 実施曜日は、土日の昼間、もしくは、平日の夜間
- ③ 時間は、1回2時間

(4)開催方法

- ① 地域は、市内8地域(福祉圏域)を単位
- ② 人数は、1地域(福祉圏域)あたり10～30人想定(平成28年度は10～20人程度)
- ③ 感染状況に応じてZoom等によるオンライン参加を併用する

(5)実施プログラム

■ワールドカフェ×2 地域同時開催

- ① 1回(1会場)あたり 2 地域(福祉圏域)が参集し、同時開催する
- ② 感染防止のため、隣接の 2 会場開催、もしくは、広い会場で開催する

開会挨拶 5分	懇談会の始まりです！
オリエンテーション 15分	懇談会の趣旨、進め方を確認しましょう！
懇談会	①身近な困りごとを出し合いましょう！
60分	<p>テーブル毎のテーマを決めて、意見を出し合う</p> <p>■テーマ</p> <p>例A ①地域の良いところ、②身近な困りごと、③欲しい地域活動 例B ①子ども、子育て ②高齢者、障害 ③その他困っている人 例C ①デジタル活用法 ②安全・災害対策 ③人材発掘</p> <p>■実施方法</p> <p>1セット目:参加者を1テーブル4～5人に振り分け、各テーブルの模造紙に付箋に意見を出し合う(15分) 2セット目:次のテーブルに移動し、そのテーブルの模造紙に新たなメンバーが意見を追加していく(15分) 3セット目:次のテーブルに移動し、そのテーブルの模造紙に新たなメンバーが意見を追加していく(15分) まとめ:そのテーブルで模造紙に出された意見を整理する(15分)</p> <p>※参加者数に応じてセット数や時間調整は可</p>
(休憩・移動 5分)	②近隣の地域のことを知りましょう！
15分	近隣の地域が作成した模造紙を見学し、各模造紙に「感想」「意見」を付箋で貼っていく
まとめ	地域の長所・短所を共有し、明日からの活動に生かしましょう！
15分(移動含む)	<ul style="list-style-type: none">・自分達の模造紙に貼られた他地域の意見を確認する・参加者 2～3 人にインタビューし、模造紙の意見と他地域からの意見を踏まえた感想や、地域活動のポイント等を話してもらい、まとめとする
閉会挨拶 5分/2時間	お疲れ様でした！